

# 大麦栽培情報 第1号

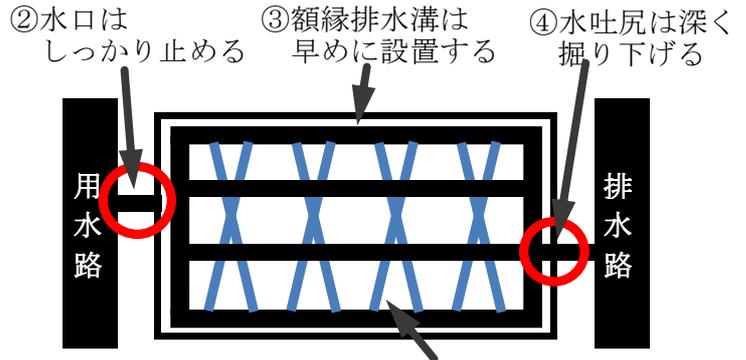
## 雑草害が懸念されるほ場では作付しない

### (1) ほ場の選定

- ・大麦の連作は原則2年までとし、雑草が繁茂した大麦ほ場は水稻を作付けしましょう。
- ・8月末から排水対策が実施できる早生跡ほ場を活用し、団地化させましょう。

### (2) 播種前の排水対策

- ・稲刈直後に額縁排水溝の設置と心土破碎を行いましょ。
- ・水口を止めた後、水吐尻を深く掘り下げ、額縁排水溝と連結しましょう。
- ・播種までは、耕起をせず、表面排水を促しましょう。



### (3) 土づくり

- ・耕起前に苦土石灰を 100kg/10a 施用しましょう。
- ・大麦連作田で前作収穫後に土づくり対策が未実施のほ場は、牛糞堆肥 1 t/10a 以上または発酵鶏糞 100kg/10a 以上を散布しましょう。

### (4) 種子の準備

- ・消毒済み種子を使用しましょう（ベンレートT水和剤 20 を乾燥種子重量 0.5% 粉衣）。
- ・目標苗立数を確保するため、播種時期に応じた播種量を守りましょう。

播種時期	目標苗立数(本/m <sup>2</sup> )	播種量の目安(kg/10a)
9月25～30日	140	6.0
10月上旬	150	6.5
10月中旬	200	8.5

- ・排水の悪いほ場は、播種を 0.5～1 kg/10a 程度増やしましょう。

### (5) 播種作業

- ・原則10月上旬に播種を終える計画を立てましょう。
- ・肥料は、Jコート大麦48号を **40～45kg/10a** 施肥しましょう。
- ・土壌が乾いたほ場から順次耕起、播種を行い、碎土率を高めましょう。
- ・播種時に実施した排水溝と額縁排水溝を連結させ、降雨後のほ場に水が溜らないよう努めましょう。

### (6) 除草剤の散布

- ・薬害がでないよう、播種深度は約3cmとし、種子が露出しないようにしましょう。

薬剤名	適用雑草	使用時期	使用量(/10a)
キックボクサー細粒剤F	1年生雑草	播種後出芽前	3～4kg